

別紙2 設定作業仕様

1 全般

- ・既存サーバラック内へ機器を設置すること。
- ・移行完了後に既存サーバー式（UPS、バックアップ装置等を含む）をサーバラックからアンマウントおよび撤去すること。
- ・電源供給ができなくなった場合に、安全にかつ自動で全サーバのシステムを停止できるよう電源管理ソフトを設定すること。
- ・仮想化ホストサーバに USB 接続した HDD に仮想化ホストサーバおよび仮想サーバのバックアップを保存する設定を行うこと。
- ・サーバのデータ及びシステムのバックアップについて、日時、曜日等のスケジュール及び範囲を指定して実行できるようにすること。
- ・各サーバのエラーを検知し、その発生を電子メール等により通知できる仕組みを有すること。

2 仮想化ホストサーバ

- ・WindowsServer を正常に動作させること。
- ・仮想化機能(Hyper-V)により、仮想サーバが2台稼働できるようにすること。

3 Web プロキシサーバ

- ・WindowsServer を搭載した仮想サーバで動作させること。
- ・ウェブコンテンツフィルタリングソフトを最適なバージョンで構築し、主に Web フィルタ機能が正常に動作させること。
- ・既存サーバから設定およびデータを移行し、これまでと同様の環境で動作できるようにすること。

4 CMS 用サーバ

- ・WindowsServer を搭載した仮想サーバで動作させること。
- ・CMS 用ソフトを最適なバージョンで正常に動作させること。
- ・クラウド上の本市ホームページサーバとコンテンツデータの転送や同期が正常に行えるようにすること。
- ・既存サーバから設定およびデータを移行し、これまでと同様に利用できるようにすること。